

登録コード	HM121900	開講年度	2026			
授業題目	麻酔科学論文演習				担当教員	田中 聡 他
英文授業名	Thesis Seminar in Anesthesiology				副担当	石田 高志・石田 公美子
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初					
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				⇔	研究テーマに対して仮説を立て、仮設の正当性を示す研究計画を立てられる。
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				⇔	データの解釈法を理解しデータが示す意味を理解できる。
(2)詳細 /Detailed information	麻酔学・周術期医学に関する原著論文を適切に読解し、研究背景・方法・結果・限界考えながら、学術的議論を通じて、自身の考えを論理的に発信できる。					
(3)授業の概要 /Overview of course	① 既存の仮説・学説を理解できる。 ② 研究テーマをみつけ研究計画を立案できる。 ③ データをまとめ、考察できる。					
(4)授業計画 /Course plan	1、 研究テーマの設定（第1回～第3回） 2、 研究計画の立案 （第4回～第6回） 3、 データの解釈と統計 （第7回～第9回） 4、 論文の書き方 （第10回～第12回） 5、 課題ごとに草稿に基づいた指導（第13回～第15回）					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	レポートによる評価。 「レポートの評価基準」 （1）研究テーマの設定が適切であり、（2）その問題の背景を説明できており、（3）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、（4）それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、（5）その上でデータから見解を適切に提示できている場合には、「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	事前学習：授業の終わりに次回までの予習課題を説明する。予習した内容はミニレポートとして講義の最初の10分間にまとめ、提出する。 事後学習：授業の始めに、前回の授業内容に関連する問題を提示するので、復習をして授業に臨む。 この授業の履修にあたっては、周術期医療の経験があることが望ましい。上記の日時に参加できない場合には、協議の上で具体的な時間割を決定する。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問は随時受け付ける。					
(8)授業の形式 /Course format	演習。					